

△コレバイン錠・△ミニニ 83% [内]

【重要度】 【一般製剤名】 コレスチミド colestimide 【分類】 高コレステロール血症治療剤

【単位】 △ 500mg/錠、△ミニニ 83% (1包 1.81g)

【常用量】 3g/日 [最大 4g]

【用法】 1日2回、朝夕食前に水とともに経口投与

【透析患者への投与方法】 吸収されないため減量の必要はないと思われるが便秘に注意 (5) 【その他の報告】 陰イオン交換作用機序に基づくリン吸着能があり、血清P濃度低下作用を有する。Caを含まないため過剰なCa負荷による高Ca血症を予防することができる (透析会誌 34: 111-7, 2001 および八尾村多佳朗, 他: 腎と透析 51: 399-402, 2001)

【保存期 CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 外因性コレステロールの吸収を抑制。腸管内で胆汁酸を吸着して糞便中への排泄を促進。高コレステロール血症で、食事・運動療法によっても十分なコレステロール値の低下が得られない患者に適している。肝での HMG-CoA 還元酵素の活性化をもたらすため、スタチンとの併用が合理的である。LDLが高いIIa型に適用され、スタチン投与ができない場合に用いられる。

【主な副作用・毒性】 便秘、腹部膨満感、腹痛、嘔気、嘔吐、消化不良、口内乾燥、舌荒れ、肝機能障害、掻痒、丘疹、発疹、動悸、不整脈、狭心症状、関節痛、頸部痛、CK上昇、血球減少、倦怠感、筋肉痛、背部痛など

【吸収】 消化管からは吸収されない (1)

【代謝】 消化管内で代謝・分解されない (1)

【排泄】 糞便中にほぼ全量が排泄される (1)

【MW】 高分子

【透析性】 吸収されないので該当しない (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない

【相互作用】 イオパノ酸、酸性薬物、テトラサイクリン、フェノバルビタール、甲状腺製剤、チロキシン製剤、ジギタリス、アカルボース、ウルソデオキシコール酸、ケノデオキシコール酸、エゼチミブなどの吸収を遅延あるいは減少させるおそれ (1)

【備考】 完全な胆道の閉塞により胆汁が腸管に排泄されない患者には投与禁忌。便秘をおこしやすい患者または痔疾患を有する患者、消化性潰瘍又はその既往歴のある患者、出血傾向を有する患者、肝疾患や肝機能障害のある患者には慎重投与。

【更新日】 20150824

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。